

熊本県精神科協会学術講演会 ご案内

- 日本医師会生涯教育講座 0.5単位 -コード番号「5」-
- 日本医師会生涯教育講座 1単位 -コード番号「68」-
- 日本精神神経学会 精神科専門医制度認定C群 1単位 -

(専門医制度認定単位取得を希望される場合は会場受付にて会員カードのご提示をお願い致します)

時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、熊本県精神科協会学術講演会を下記の要領にて開催することとなりました。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人 熊本県精神科協会 会長 相澤 明憲

日時：2024年 9月 19日(木) 18時30分～20時30分

会場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2階『平安』
〒860-8575 熊本市中央区東阿弥陀寺町2 TEL: 096-354-2111

*『QRコード』は 株式会社
ウェブの登録商標です



WEB：ZoomミーティングによるLIVE配信

※事前参加登録につきまして裏面をご参照ください

情報提供【18時30分-18時45分】 ブレクスピプラゾールに関する最新の話
大塚製薬株式会社

講演Ⅰ【18時45分-19時30分】

コード番号：5 「心理社会的アプローチ」0.5単位

「VR-SSTの活用方法を考える～患者さんの声と使用感～」

※VR-SSTは、社会生活場面を教材にVRで練習できる精神科専門医監修の

SST(社会生活スキルトレーニング)支援プログラムです。本システムは医療機器ではありません

演者：医療法人山田会 八代更生病院

院長 阿部 恭久 先生

作業療法士 吉野 幸二 先生

特別講演【19時30分-20時30分】

コード番号：68 「精神科領域の救急」1単位 ※演者今井先生は東京よりLIVE配信

座長：特定医療法人佐藤会 弓削病院

院長 相澤 明憲 先生

「急性期治療を再考する

一都立松沢病院における拘束削減とその先にあるもの」

演者：地方独立行政法人 東京都立病院機構
東京都立松沢病院

精神科部長 今井 淳司 先生

共催：公益社団法人 熊本県精神科協会 大塚製薬株式会社

後援：公益社団法人 熊本県医師会

◆事前参加登録のお願い

- ・ 講演会開催に際し『会場参加』と『WEB参加』の総数を把握させていただきたく、下記URLあるいはQRコードから事前登録をお願い申し上げます。
- ・ WEB配信は**Zoomミーティング**を用います。ご視聴いただく通信機器によっては**Zoomアプリ**のインストールが必要となる場合がございますので、ご留意願います。

登録用URL : <https://qr.paps.jp/K2X7K>

QRコードよりご登録 :

スマートフォン、タブレット等のバーコードリーダー機能にて、
右記、QRコードより読み取りください

*『QRコード』は (株)デンソーウェーブの登録商標です



◆事前参加登録で『WEB参加』をご選択された先生方へ

- 登録内容を確認次第、弊社よりご指定のメールアドレスにZoomミーティング入室用URLを送信させていただきます。
- 当日は参加者確認の為、チャットに御所属、御芳名の入力をお願い申し上げます。複数名でご視聴の際は、お手数ですが代表者が視聴されている方全員の御芳名を入力いただきますようお願い申し上げます。
- 薬機法*67条に基づき、医療関係者以外のご聴講はご遠慮願います。
* 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
第67条[特定疾病用の医薬品及び再生医療等製品の広告の制限]
- 第三者への入室用URL転送はお控えいただきますようお願いいたします。
WEB参加者追加をご要望の際はお手数ですが弊社担当MRにご用命ください。直接視聴希望者にご案内いたします。
- 著作権・肖像権保護の観点から録画、録音および撮影はご遠慮願います。
- その他、ご不明な点につきましては下記担当者までお問い合わせください。

大塚製薬株式会社 九州第二支店 医薬二課 井上晶文 TEL : 080-5905-0767

◆講演内容

【講演 I】

認知機能障害の治療では薬物療法に加えSST等のリハビリテーションが重要となる。

そんな中、当院では新たな試みとしてVR-SSTを導入した。今回の講演では導入時の目的、導入後の職員及び患者様の反応、更には今後の展望に触れ、VR-SSTの有用性について検討したい。

※VR-SSTは、社会生活場면을教材にVRで練習できる精神科専門医監修の

SST(社会生活スキルトレーニング) 支援プログラムです。本システムは医療機器ではありません

【特別講演】

都立松沢病院では、約85%の身体拘束削減が実現した。

身体拘束削減は、入院後服薬率を増加させ、また接遇の向上などの看護師の姿勢にも変化が与えた。

身体拘束の削減は医療－患者関係の構築、それを基盤にした患者の回復のための重要な一手法として位置づけられる。

- ✓ ご入力いただきました御所属名、芳名等個人情報には本会出席者確認の為に使用いたします。
- ✓ 頂戴した個人情報は個人情報保護法に基づき、厳密に管理いたします。また共催および後援団体以外に開示する事はございません。使用目的達成後、速やかに廃棄いたします。
- ✓ ご理解とご協力いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。